



焚き火しながら  
酒を飲むのもいいなあ、と。  
腕のいい料理職人の宇野謙二さんが、流線型トレーラーをつかった宿泊施設トレーラーハウスの主人となったのは、いわば成り行きである。「焚き火しながら酒を飲む時間もいいなあと……」三十年ほど前、山を買った。買ったので、いっそこに別荘を建てるか。木を伐り、山を拓いていくのは楽しかった。人生はふとしたことで進路が決まるもので、トレーラーをもう一台増やせば宿泊施設ができるアドバイスされ、「やったことのない宿屋のおやじとなった次第です」国内だけでなく海外からもリピーターが多い。主人の人柄に惹かれてくる人がほとんどである。

六月の風 宇野謙二



企業としての農業を求め、  
究めていく。  
日本一作物に足音を聞かせています。そのメッセージに、農業生産法人・阿蘇たいちやん農場は作物づくりの心意気を集約する。こだわりを米をはじめ、大豆、麦、アスパラなどを生産。この仕事にとっていちばん大事なものは、と問われたら迷わず、「人です。担い手です」田中泰次郎さんはそう答える。スタッフには阿蘇以外の地からやつてきた非農家出身の若者が多い。企業としての農業を求め、働きやすい環境を整備しているからだろう。ユニークな米ブランドの普及に尽力するなど、つねに「努力と発想」からなる先駆的な試みをつづけている。

阿蘇たいちやん農場  
田中泰次郎



ケチャップの名品に企業秘密はない、  
真似できないだけだ。  
厳密な基準からすると少し熟れ過ぎの真っ赤なトマト(規格外品)を眺めていた吉田清二さんはピンときて、さっそく名人に相談した。「ケチャップになりませんか」お、できるとよ「名人はあっさり太鼓判を押ししてくれた。名品が生まれる。これぞ」阿蘇ものがたり」の代表作。そもそも大型農業をこころざすのではなく、いわゆる高付加価値農業を目指していた。さて、その名品ケチャップ。あとは売りこみである。なかなか浸透しなかったが、人呼んで「スッポンの吉田」、決して諦めない。いちど味わつてもらえばすべてわかる、の信念。そのとおりになった。

工房阿蘇ものがたり 吉田清二

火の国阿蘇の  
恵みのブランド

Aso Zen  
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。  
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、  
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局  
(阿蘇市観光まちづくり課)  
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

● 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

● 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。



CONTENTS もくじ

- 04 平成27年 年頭あいさつ
- 06 **特集** 2014年のできごとを紹介  
～阿蘇市の一年はこんな年でした！～
- 08 阿蘇中岳小規模噴火
- 10 まちの話題
- 16 A S O 田園空間博物館通信 No.59
- 17 人権作文 ▶ 若宮 奏恵さん
- 18 税の申告
- 20 **重要** 阿蘇市議会議員一般選挙
- 22 市役所からのお知らせ
  - ▶ 市長と行く「我がまち阿蘇市を知るツアー」
  - ▶ パブリックコメント（意見募集）
  - ▶ 競争入札参加資格審査申請の受付実施
  - ▶ 税申告で障害者控除
  - ▶ 水銀体温計・水銀血圧計の回収
  - ▶ 固定資産の把握 ▶ 事業用資産の申告
- 24 暮らしの情報
- 28 自慢の学校 ▶ 阿蘇中学校
- 29 図書館へ行こう！ ▶ 2014年貸出ランキング！
- 30 暮らしカレンダー・お慶び・ご寄付
- 32 大事にしたい、懐かしい阿蘇の生活 No.34
- 33 地産地消クッキング ▶ 里芋のコロッケ  
さわやかフレッシュマン ▶ 本田望さん
- 34 **NEW** 阿蘇ジオパーク探訪  
▶ 大観峰カルデラジオサイト



秘かなビュースポットとして知られる西小園の田子山から観る日の出の瞬間です。

田子山は、昨年春に褒章を受けた「田子山絆の森委員会」の皆さんが日頃から景観整備や緑化活動に取り組んでいます。この場所でしか見ることのできない四季折々の阿蘇五岳や阿蘇谷を見るため、多くの人が訪れる人気のスポットです。

夢を追いかける青少年の声を届けますー

# 夢を追いかけて

僕の夢は、高校野球で甲子園に行くことです。その理由は、テレビで甲子園を見たときにとっても感動したからです。

そのために今、日々の練習を一生懸命がんばっています。どうしたらボールが遠く飛ぶかなどを考えて投げるようにしています。

自分にできる努力を重ね、将来甲子園に行き、見ている人に感動や勇気を与えられる選手になりたいです。今までに支えてくださった人たちに恩返しをしたいと思っています。

## 本田 優

ほんだ ゆう / 内牧小学校・6年